

歯と口腔保健計画に関する取組

資料4

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の予定	担当課
妊娠期・乳幼児期	歯と口腔の衛生週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	6月に各保健センターにポスター掲示、広報での周知を行った。	継続して実施していく。	健康推進課
	母子健康手帳交付時に妊婦歯科健診を啓発する。	母子健康手帳交付時に歯科健診を受けることの重要性を伝え、受診の日程一覧表を配布した。	一覧表の内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	乳幼児期からの歯と口腔の発育の大切さについて周知する。	乳児健康診査、子育て相談、もぐもぐ歯っぴい教室で722人にリーフレットを配布した。	リーフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	もぐもぐ歯っぴい教室、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査でリーフレット等を配布した。	紙芝居、写真付きリーフレット等を使用した分かりやすい内容で実施していく。	健康推進課
	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	各健康診査(マタニティ教室、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児健康診査)で実施した。 公立保育園の年少児と保護者469人に対して、フロスの実習を行った。	使用効果をさらに啓発する。	健康推進課
	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	マタニティ教室、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査時の歯科健康教育で啓発した。	0歳児歯科健康診査でもかかりつけ歯科医を持つことの重要性を啓発していく。	健康推進課
	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	各健診で個別で声かけを実施した。69人に対し、う蝕、歯周病の治療勧奨を行った。	治療勧奨後の受診状況を確認していく。	健康推進課
	マタニティ教室等で、たばこが妊婦・胎児に与える影響を、わかりやすく普及・啓発する。	母子手帳交付時、マタニティ教室、乳児健康診査で実施した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	口腔習癖の弊害を啓発する。	各健診で個別で口腔習癖を持っている人に声かけを実施した。	口腔習癖が改善されたか、次回の健康診査の際に確認していく。	健康推進課
	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	マタニティ教室、離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室で、身体的発達と、舌、口唇の働きの関連や、口腔の発達に合った食形態についての指導を実施した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020(ハチマルニイマル)運動」を推進する。	マタニティ教室で8020運動のパンフレットを79人に配布した。	8020達成の為の、生活習慣の改善方法をパンフレットを使用し説明していく。	健康推進課
	保育園児対象の歯科健診を実施する。	保育園にて、年2回の歯科健診を全園児(0歳児～5歳児)対象で実施し、その結果を保護者に報告し必要な人には治療勧奨を行った。	治療勧奨後の受診状況を確認していく。	子育て支援課
児童期・思春期	歯と口の衛生週間に合わせ、むし歯予防について啓発する。	6月の歯と口の衛生週間にあわせ、かみごたえのある食材を使用し献立を提供した。また、「かみかみの日」とし、毎月1品かみごたえのある食材を使用し、説明した給食だよりを配布した。 虫歯予防に関する放送資料を作成し、給食時に放送した。	継続して実施していく。	学校給食センター課
	かかりつけ歯科医を持つよう啓発する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	おやつ選びや食生活・歯みがき指導・フッ化物等の知識を普及する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	歯と口腔の大切さについて、周知する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	歯みがき指導を推進する。	希望のあった小中学校にて、歯みがき教室を開催した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	歯間部清掃用器具の使用効果を啓発する。	福祉健康まつりでフロスを啓発物品として156人に配布した。 希望のあった小中学校での歯みがき指導で実施した。	使用効果と具体的な使用方法について継続して実施していく。	健康推進課
	むし歯・歯肉炎と生活習慣の関係について啓発する。	希望のあった小中学校にて、歯みがき教室、学校保健委員会の際に実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行う。	歯科健診時に必要な人に対し治療勧奨を行った。	治療勧奨後の受診状況を確認していく。	学校教育課

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の予定	担当課
児童期・思春期	成長に伴う口腔機能の発達について啓発する。	希望のあった学校保健委員会、歯みがき教室において実施した。	内容を精査して全校に広めていく。	健康推進課
	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020(ハチマルニイマル)運動」を推進する。	希望のあった歯みがき教室、学校保健委員会の際に周知した。	内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
青年期・壮年期・高齢期	歯と口の衛生週間に合わせ、口腔管理について啓発する。	6月に各保健センターにポスター掲示、広報での周知を行った。	ポスターの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	口腔疾患と全身疾患の関係性についての知識を普及する。	歯と口腔の健診の際に、口腔疾患と全身疾患の関係性が掲載されたパンフレットを939人に配布した。	パンフレットの内容を精査して、対象者に合ったパンフレットを用意する。	健康推進課
	医科、歯科、薬科等関係機関との連携を強化する。	医師、歯科医師、薬剤師代表を含む委員で構成される歯と口腔保健推進協議会において情報交換を行い、連携の強化を図った。	継続して実施していく。	健康推進課
	口腔機能の向上を啓発する。	歯と口腔の健診の際に、パンフレットの配布を行った。ホームページにて健口体操の周知を行った。	継続して実施	健康推進課
	歯と口腔の健診の受診勧奨をする。	特定健診、30・35歳健診と同時に行い受診者の増加を図った。76歳を対象に受診勧奨ハガキを送付した。	継続して実施	健康推進課
	喫煙が及ぼす歯周病への健康影響について周知する。	歯と口腔の健診の際に、喫煙者154人に対しパンフレットの配布を行った。	パンフレットの内容を精査して継続して実施していく。	健康推進課
	80歳になっても20本以上自分の歯を保つことを目標とした「8020(ハチマルニイマル)運動」を推進する。	健康福祉まつりで9020・8020表彰を実施した。9020表彰者は3人、8020表彰者は20人。	100歳以上の訪問を実施し、10020表彰につなげる。	健康推進課
	介護予防(口腔機能の向上)を啓発する。	介護予防教室で実施した。	継続して実施していく。	高齢福祉課
		長寿を祝う会にて歯科医師の講話を行った。	内容を精査して継続して実施していく。	生涯学習課
		シルバーカレッジに口腔ケアの講座授業を取り入れた。		
要介護者の口腔機能向上のため、往診治療や往診歯科口腔指導のサービスについて啓発する。	民生委員を通じて65歳以上の世帯へ健口体操の啓発文書を10,940人に配布した。	啓発文書の内容を精査して継続して実施していく。(約11,000人)	健康推進課	
	相談対応時に情報提供を行った。介護保険サービス事業者連絡会において、歯科医師の講義と歯科医師及び介護関係職員との交流を行った。	内容を精査して継続して実施していく。	高齢福祉課	
お薬手帳の利用を勧奨する。	窓口に来所された高齢者に対し、お薬手帳の利用を確認している。	シルバーカレッジ等でお薬手帳の利用啓発を行う。	健康推進課	

## (2)食育との関わり

取組内容		令和元年度の取組状況	今後の取り組み	担当課
妊産婦期・乳児期	歯の生えかわりに応じた摂食機能の食べ方の支援や薄味の食事を意識してゆっくりにかむことで、味覚の発達に関する支援を実施する。	離乳食教室、もぐもぐ歯っぴい教室において、口腔発達段階に応じた適切な食形態、食べ方や食べさせ方の情報提供を行った。子育て相談、1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康診査、3歳児歯科健康診査の個別相談において、個々の口腔の状況に合った食形態、口腔機能を促す遊びの紹介を行った。	医師、歯科医師、保健師、管理栄養士、看護師、歯科衛生士等との意見の統一を図りながら、継続して実施していく。	健康推進課
青年期・壮年期	食べ方による生活習慣病対策に関わる支援を実施する。	特定保健指導、栄養相談の際に生活習慣チェック表を使用し、よくかんでゆっくり食べるようにしているか確認をし、必要に応じて適切な食べ方を指導した。	ゆっくり食べることが、生活習慣病対策につながることを広報に掲載して広く啓発していく。	健康推進課
高齢期	口腔機能の維持や、機能減退による誤嚥・窒息の防止を始めとする安全性に配慮した支援を実施する。	はつらつクラブにおいて、口腔機能の維持向上、安全な食形態について77人に指導した。75歳以上の歯と口腔の健診において81人に口腔機能に関するリーフレットを配布した。	内容を精査するとともに、200人への指導を目指す。	健康推進課